



# えんじゅ

春日市立春日小学校  
校長室便り No.11  
令和4年9月29日  
文責：校長 福島

## 子供の幸せ 先生の幸せ



学校関係のニュースに出てくるような写真を載せました。今日は教育の時事問題に触れたいと思います。

教員不足、教師を目指す人材の減少、ブラックな職場、教員の長時間労働、働き方改革等、最近ニュースで学校現場の厳しい状況の報道を目にします。私は誇れる仕事だと思っているし、校長として諸問題に向き合っていきます。

現在春日小学校に教員の欠員はありません。各学年に担任以外の教員が1人ずついて、理科や外国語の専科指導を行ったり、少人数指導を行ったりして各学年の指導を充実させています。さらに、後期からは教師を目指す学生サポーターが6名、年度末まで来てくれることになりました。夢を膨らませることでしょう。各学年の指導を一層充実できると期待しています。

働き方改革についても、積極的に推進しています。働き方改革というのは、教師が楽をすることがゴールではないと考えています。「量を減らして質を高める」ものです。その質の高まりが子供の成長につながるものがゴールです。

本年度の重点目標は「潤いのある学校・家庭・地域づくり」です。学校が潤うためには教師の「ゆとり」は不可欠です。前号で書いたような「先生あのね」をしっかりと受け止めるためにも「ゆとり」が必要です。教師が疲れていては、見えるものが見えなくなります。子供の心の声が聞こえなくなります。「ゆとり」は大切です。

先生たちに時々こんな話をします。「ゆとりは、誰かがつくってくれるだけのものではありません。自分で生み出すことも大切です。」「子供が幸せになるためには、まず先生が幸せでなくてはなりません。」

今日は時事問題に触れてみましたが、皆様には「ゆとり」ありますか？